

2019年1月1日

サラファイン用次亜塩素酸ソーダ規格表

製品名 次亜塩素酸ナトリウム (N-40 12%)

Lot:190101

成分	社内規格	分析値
有効塩素	12.0%以上	12.53
P H	11.5 ~ 14	12.34
比重 / 温度		1.140/20.0
外観	淡黄色透明液体	適合
以上の通り御通知申し上げます。		

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : 次亜塩素酸ナトリウム用薬剤
品目番号 : RSW0072
会社名 : 株式会社タクミナ
住所 : 大阪市中央区淡路町 2-2-14 (〒541-0047)
電話番号 : 06-6208-3971 FAX 番号 : 06-6208-3977
担当部門 : 緊急連絡先 : 品質保証部
電話番号 : 079-679-2215 FAX 番号 : 079-679-5775

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響

酸との接触により分解し、塩素ガスを発生し、急性毒性を起こすおそれがある。

特有の危険有害性

物理的及び化学的危険性 :

- ・ 金属類、天然繊維類のほとんどのものを腐食する。
- ・ 日光特に紫外線により分解が促進される。

人の健康に対する有害な影響 :

- ・ 腐食性があり、酸性溶液との混合で塩素ガスを遊離して、皮膚、粘膜を刺激する。
- ・ 眼に入った場合は激しい痛みを感じ、すぐに洗い流さないと角膜が侵される。手当てが遅れたり、処置が適当でないと視力が下がったり失明する可能性がある。
- ・ 長期にわたって皮膚に接触すると刺激により皮膚炎、湿疹を起こす。
- ・ ミストを吸入すると気道粘膜を刺激し、しわがれ声、咽喉部の灼熱感、疼痛、激しい咳、肺浮腫を生ずる。
- ・ 飲み込んだ場合、口腔・食道・胃部の灼熱、疼痛、まれに食堂、胃に穿孔を生じることがある。

環境汚染性 : 河川等流れ込むと水生生物に対して影響を与えることがある。

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外
自然発火性液体 : 区分外
金属腐食性物質 : 区分 1

健康有害性

急性毒性 (経口) : 区分外
皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 1
特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 区分 2 (消化器系)
区分 3 (気道刺激性)
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 分類できない

環境への影響

水生環境急性有害性 (急性) : 区分 1
水生環境急性有害性 (長期間) : 区分 1

* 上記で記載がない危険有害性は分類対象外か分類できない。



シンボル	:
注意喚起語	: 危険
危険有害情報	: 金属腐食のおそれ 飲み込むと有害のおそれ 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷 臓器（消化器系）の障害のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	: 混合物（水溶液）
成分及び含有量	: 次亜塩素酸ナトリウム；有効塩素 12%以上（製造時）
化学式または構造式	: NaClO
化審法	: 1-237
CAS番号	: 7681-52-9

4. 応急措置

吸入した場合	: 万一有害な塩素ガスを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所へ移動して安静にし、直ちに医師の処置を受ける。 ミストを吸い込んだときは、直ちに新鮮な空気の風通しのよい場所へ移動して安静にする。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 直ちに多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、直ちに脱ぎ皮膚を多量の水でぬめり感がなくなるまで十分に洗い流す。 何らかの異状を感じたときは直ちに医師の診断を受ける。
目に入った場合	: 直ちに流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合	: 直ちに水で口の中を洗浄し、コップ1～2杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせようとしない。意識のないときは口から何も与えない。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
その他	: 使用中、目にしみたり、せき込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用をやめてその場から離れ、洗眼、うがいをする。その後、直ちに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	: 大量の水。
使ってはならない消火剤	: 炭酸ガス・酸性の粉末消火剤 (酸との接触により有害な塩素ガスを発生する)
特有の危険有害性	: 加熱や燃焼により分解し、有毒で腐食性の塩素ガスを生じる。
特有の消化方法	: 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能の際は、容器及び周辺に注水して冷却する。 消火作業の際は適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴、保護衣、保護マスクなどの保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 雨水溝、河川、海上などに大量に排出されないように注意する。
除去方法	: 流出防止用の堤防を作り、空容器に回収する。できるだけ取り除いた後、漏出した場

所は多量の水で洗い流す。必要ならば還元剤（亜硫酸ナトリウムやチオ硫酸ナトリウム）で還元してから多量の水で洗い流す。この場合、濃厚な廃液が環境へ流入しないように注意する。

酸との混合は有毒ガスが発生するので行ってはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：・作業時は必ず保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴などの保護具を着用する。
- ・体調の悪いときは使わない。
 - ・特有の臭気を有しているため、作業中の換気に注意する。
 - ・キャップを開けるときの液が飛び出すことがあるので注意する。また、容器を移動するときはキャップをしっかり閉める。緩んでいると液が跳ねて目や皮膚に付くことがある。
 - ・他の薬剤・洗剤などとは絶対に混ぜたり併用したりしない。
 - ・指定された容器以外には移し替えない。
 - ・用途以外には絶対に使用しない。
 - ・金属類、他の薬剤・洗剤などの混入は絶対に避ける。
 - ・金属に対する腐食性が強いので、浸漬用容器あるいは貯槽などは樹脂系のものを使用する。ゴム製のものには長時間使用すると膨潤するものもあるので注意する。
 - ・使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。
- 保管：・直射日光のあたる場所、高温多湿な場所を避けて密閉して保管する。
- ・酸性物質と同じ場所に保管しない。
 - ・子供の手の届かないところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策：・局所排気装置または全体排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。
- 管理濃度：・設定されていない。
- 許容濃度：・設定されていない。
- 保護具：・手の保護具；ゴム手袋
目の保護具；保護メガネ
皮膚及び身体の保護具；保護衣、ゴム長靴
呼吸器の保護具；ハロゲンガス用防毒マスク

9. 物理的及び化学的性質

- 形状・色：黄緑色透明液体
- 臭い：特有の塩素臭あり
- pH：12.0以上（原液20℃）
- 比重：1.12～1.16（20℃）
- 有効塩素：12.0%以上（製造時）
- 溶媒に対する溶解性：水とどんな割合でも溶解する。
- 引火点：なし（不燃物）
- 酸化性：あり（ただし、危険を伴うほどのものではない）

10. 安定性及び反応性

- 安定性：・空気・熱・光・金属などに極めて不安定で、放置すると徐々に分解し有効塩素を失う。
常温でも徐々に自然分解する。pHが低下すると分解が促進される。
- 反応性：・酸性物質と反応し有害な塩素ガスを発生する。また、アルコールとも同様な現象が起こる可能性がある。

危険有害反応可能性 : 自己反応性、爆発性なし。
避けるべき条件 : 腐食性があるので、鉄製の容器は使用しない。
アミン類やアンモニアと反応して有害で爆発性の三塩化窒素を発生する。
酸と接触したり、pHが低下すると塩素ガスが発生する。
避けるべき材料 : 酸、アミン類、アンモニア
危険有害な分解生成物 : 酸性物質との反応により発生する塩素ガス

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 ; 区分外 (ラット) LD₅₀ 1.23-1.45 g/kg (有効塩素 12.5%品)
経皮 ; 区分外
吸入 (蒸気) ; 分類できない
吸入 (ミスト) ; 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 区分1
呼吸器感作性又は皮膚感作性 : データ不足の為、分類できない。
生殖細胞変異原性 : 区分外
発がん性 : 区分外
生殖毒性 : 区分外
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露 : 区分3 (気道刺激性) ミストの吸引によって咳と窒息を生じ
気道刺激と肺水腫を起こす可能性がある
区分2 (呼吸器系) 腐食性に起因する食道・胃への影響、溶液の
摂取による胃および腸の壊死を伴う出血性腫瘍
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露 : データ不足の為、分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性
魚毒性 : 水生毒性 (急性) ; 区分1
魚類 LC₅₀ / 96hr 0.023mg/L
甲殻類 LC₅₀ / 24hr 0.005mg/L
軟体動物 LC₅₀ / 96hr 0.042mg/L
藻類 LC₅₀ / 24hr 0.075mg/L
水生毒性 (慢性) ; 区分1
残留性/分解性 : 分解性あり
生体蓄積性 : なし
土壌中の移動性 : データなし
オゾン層への有害性 : 微量副生成物の生成

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 少量の場合は、水で希釈してからチオ硫酸ナトリウムなどを加えて還元処理した後、排出する。いきなり酸で中和すると、有害な塩素ガスが発生するので絶対に行わない。
廃棄処理するときは、保護具を着用する。
多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理する。
汚染容器・包装 : 使い終わった容器は、残留物の有無を確かめた上で水でよく洗ってから処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制
海上規制情報 : IMOに規定に従う
UN No. : 1791

Proper shipping name : HYPOCHLORITE SOLUTION
Class : 8
Packing Group : III
Marine Pollutant : Not Applicable
MARPOLによるばら積み輸送される液体物質：非該当
航空規制情報 : ICAO、IATAの規定に従う
UN No. : 1791
Proper shipping name : HYPOCHLORITE SOLUTION
Class : 8
Packing Group : III

国内規制

国連番号 : 1791
品名(国連輸送名) : 次亜塩素酸(水溶液)
国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 8
容器等級 : III
海洋汚染物質 : 非該当
陸上規制情報 : 特段の規制はない
海上規制情報 : 船舶安全法、港則法の規定に従う
航空規制情報 : 航空法の規制に従う
積載情報 : 航空法の規制に従う

輸送の特定の安全対策及び条件：

- ・腐食性が強いので、運搬容器および移送設備(配管、弁、ポンプなど)は耐食性のあるものを使用する。
- ・分解しやすいので、遠距離輸送はなるべく避ける。直射日光可の輸送は温度上昇によって分解が促進されるので好ましくない。
- ・酸と接触すると分解して塩素ガスを放出するので、小型容器詰めのものと同酸類との混載は避ける。
- ・専用容器を他の物質と共同してはならない。輸送に関しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・食料や飼料と一緒に輸送してはならない。
- ・重量物を上積みしない。

=====

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 該当しない
化学物質管理促進法(PRTTR法) : 該当しない
労働安全衛生法 : 該当しない
 /通知対象物 : 該当しない
 表示 : 該当しない
消防法 : 非危険物
港則法 : その他の危険物・腐食性物質
船舶安全法 : 腐食物質
航空法 : 腐食物質
海洋汚染防止法 : 有害液体物質(Y類物質)
水質汚濁防止法 : 指定物質
水道法 : 有害物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 産業廃棄物
食品衛生法 : 人の健康を損なうおそれのない添加物
 指定添加物

=====
16. その他の情報

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

=====
以上